

陸上自衛隊青森

排水管清掃口取付など

2件公告、申請書提出2月3日まで

陸上自衛隊青森駐屯地は、排水管清掃口取付など2件を一般競争入札で実施するため公告した。申請書及び資料の提出は2月3日17時まで。入札書の受領期限は2月15日17時まで。開札は2月16日に行う。

付36カ所
◎参加資格
和3・4年度一般競争(指名競争)参加資格のうち、「管工事」で級の格付を受け、東北防衛局に競争参加を希望していること

ち、当該工事に掲げる工事を施工した実績を有すること
◎基準を満たす監理技術者又は主任技術者を当該工事に専任で配置できること

田字近野503ほか
工期 3月31日
開札 2月16日10時30分
工事概要 住宅用火災報知器交換418個

を完了した工事のうち、「消防施設工事」又は「電気工事」で別の格付を受け、東北防衛局に競争参加を希望していること

○青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県又は福島県に建設業法の許可(当該工事に係る等級がC等級以上)又は「電気工事」に係る等級がC等級以上であること

○平成19年度以降入札公告日までに、元請換

入札説明書の交付期限 2月3日まで
申請書及び資料の提出期限 2月3日17時
入札書の受領期限 2月15日17時まで持参又は郵送
入札場所 会計隊入札室

▽排水管清掃口取付
施行地 青森市三内字丸山1-2

○平成19年度以降入札公告日までに、元請換

○参加資格
○東北地方整備局(港湾を海関係を除く)における令和5・6年度一般競争(指名競争)参加資格審査申請の定期受付において、希望職種を維持修繕工事として申請を行い受理されている者であり、令和5年4月1日に認定がなされる者であること

明施設における新設、更新、維持工事のいずれかの施工実績を有すること

市藤の川4番1号
電話0193-711712内線224

理研興業では2016年から中央アジアでの営業展開を計画し、防雪柵の試験施工実施やキルギスでの駐在員配置など、積極的に海外事業を推進してきた。現在は、同じ中央

国土交通省は、マスプロ型ポンプの開発へ公募

へ転換を検討している。設置コストの削減や維持管理、運転操作の省力化につなげる。現在、エンジン出力100キロワット程度の開発を先行しているが、適用範囲を広げるため、最大出力200キロワット以上の開発にも取り組む。3月に研究開発者を選定し、ポンプ設備の検討と制作に入る。24年4〜12月に直轄管理の排水機場で実証し、性能を確かめる。通常出力タイプのマスプロダクツ型排水ポンプとともに、25年度以降の本格導入を目指す。

三陸国道 道路照明施設維持補修

申請書提出1月31日まで

東北地方整備局三陸国道事務所は、宮古久慈地区道路照明施設維持補修工事を一般競争入札で実施するため公告した。申請書の提出は1月31日14時まで。確認資料の提出及び入札の締切は2月13日14時まで。開札は3月8日に行う。

郡山田町船越、青森県三戸郡階上町大字道仏地内

○参加資格
○東北地方整備局(港湾を海関係を除く)における令和5・6年度一般競争(指名競争)参加資格審査申請の定期受付において、希望職種を維持修繕工事として申請を行い受理されている者であり、令和5年4月1日に認定がなされる者であること

明施設における新設、更新、維持工事のいずれかの施工実績を有すること

市藤の川4番1号
電話0193-711712内線224

理研興業では2016年から中央アジアでの営業展開を計画し、防雪柵の試験施工実施やキルギスでの駐在員配置など、積極的に海外事業を推進してきた。現在は、同じ中央

国土交通省は、マスプロ型ポンプの開発へ公募

へ転換を検討している。設置コストの削減や維持管理、運転操作の省力化につなげる。現在、エンジン出力100キロワット程度の開発を先行しているが、適用範囲を広げるため、最大出力200キロワット以上の開発にも取り組む。3月に研究開発者を選定し、ポンプ設備の検討と制作に入る。24年4〜12月に直轄管理の排水機場で実証し、性能を確かめる。通常出力タイプのマスプロダクツ型排水ポンプとともに、25年度以降の本格導入を目指す。

▽宮古久慈地区道路照明施設維持補修工事
施行地 岩手県下閉伊

○参加資格
○東北地方整備局(港湾を海関係を除く)における令和5・6年度一般競争(指名競争)参加資格審査申請の定期受付において、希望職種を維持修繕工事として申請を行い受理されている者であり、令和5年4月1日に認定がなされる者であること

明施設における新設、更新、維持工事のいずれかの施工実績を有すること

市藤の川4番1号
電話0193-711712内線224

理研興業では2016年から中央アジアでの営業展開を計画し、防雪柵の試験施工実施やキルギスでの駐在員配置など、積極的に海外事業を推進してきた。現在は、同じ中央

国土交通省は、マスプロ型ポンプの開発へ公募

へ転換を検討している。設置コストの削減や維持管理、運転操作の省力化につなげる。現在、エンジン出力100キロワット程度の開発を先行しているが、適用範囲を広げるため、最大出力200キロワット以上の開発にも取り組む。3月に研究開発者を選定し、ポンプ設備の検討と制作に入る。24年4〜12月に直轄管理の排水機場で実証し、性能を確かめる。通常出力タイプのマスプロダクツ型排水ポンプとともに、25年度以降の本格導入を目指す。

道路地吹雪対策
=理研興業=
資材調達契約締結

防雪柵メーカーの理研興業(本社・北海道小樽市 柴尾耕三社長)は、昨年末にOD

KOMATSU SMART CONSTRUCTION Retrofit
さまざまな既存・新車の油圧ショベルに後付け、建機のデジタル化を実現する。
スマートコンストラクション レトロフィットキット
3Dマシンガイダンス
マルチGNSSに対応した低価格なキット。国土交通省i-ConstructionのICT活用工事におけるICT建機に対応。コマツ建機だけでなく幅広い従来型建機に取付可能
ペイロード
ダンプトラックの運搬土量を見える化。ペイロード用アプリでタブレットにペイロード情報を表示。
SMARTCONSTRUCTION Pilot (レトロフィット用アプリ)
3Dマシンガイダンスモニター用アプリでタブレットにガイダンス画面を表示。簡易運用アプリで設計データのアップロード、施工履歴データ群データの取得。
コマツカスタマーサポート株式会社 東北カンパニー
〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町4-1-38
☎050-3486-7031 https://home.komatsu.jp/kcsj/ 担当者: 中島